

令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立柳沢中学校

●全国学力学習状況調査(小学校第6学年・中学校第3学年)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	知識及び技能の情報の扱い方に関する事項	43.5	一項目を除いて都、全国の平均を上回った。自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことが全国の正答率を3ポイント下回った。	情報の整理し、根拠を明確にしながら、自分の考が伝わるように簡潔にまとめる力を育成していくことが課題である。
	思考、判断力、表現力の書くこと	43.5		
算数・数学	学習指導要領の領域 B図形	44.6	A数と式、Dデータの活用については、全国及び都の平均を上回った。習熟度別少人数指導の取組の成果と推定できる。	B図形では都の平均を、C関数では全国及び都の平均を下回った。図形や関数についての基本的な知識の理解や、与えられた情報を適切に読み取り、考察するなどの取組を繰り返し行っていく必要がある。
	学習指導要領の領域 C関数	40.9		
	評価の観点 知識・技能	61.8		
	問題形式 短答式	65.8		
理科	評価の観点 知識・技能	46.1	本時の目標を毎時間提示し、理解すべき点を明確にしていることが結果に結びついていると考えられる。	すべて全国平均を上回ったが、今まで以上に知識が定着するよう、繰り返し学習をしていく。